

≪庄内町学校再編整備室だより vol.2≫

庄内町教育委員会
教育課 学校再編整備室

R7.9 月 TEL 0234-43-0257

◇「庄内町立小中学校再編整備実施計画」立川地域意見交換会

「庄内町立小中学校再編整備実施計画」地域説明会後に行った保護者向けアンケートでは、全体の8割の方から計画に賛成・概ね賛成という回答をいただきましたが、その一方で立川地域については6割程度の結果でした。そのため、立川地域の方々の不安や悩み、疑問をお聞きするため立川地域意見交換会を開催しました。

日 時： 令和7年7月22日(火)、23日(水)、29日(火) 午後7時～

場所/出席人数： 清川地区 清川まちづくりセンター(22日) / 0名

立谷沢地区 立谷沢まちづくりセンター(23日) / 6名

狩川地区 狩川まちづくりセンター(29日) / 4名



↑詳しくは、町 HP

をご覧ください

☆皆様のご質問・ご意見(立谷沢地区一部抜粋)

質問・意見	回答
本来であれば地域の説明会が最初に進んでいくのでは？ここで意見を述べて内容が変わるのか？	教育委員会としてはこのままの計画で進めたいと考えています。本日は意見交換会ということで、皆様の不安解消や理解を得ることを目的にうかがいました。
決め方について、審議会からの答申は当初2校が望ましいとあったが1校になっているのは圧力があったのではないのか？	審議会の答申では小学校は2校が望ましいというものでしたが、その2校の組み合わせは、その後の検討に委ねることになりました。令和6年度に検討委員会を立ち上げて2校の組み合わせを協議しました。その中で、子供の数について議論され、児童の減少が予想以上に早く、このままであれば、早い段階でまた統合になることも考えられるため、検討委員会では1校の意見が大半となりました。
災害時に学校でフォローはあるのか？立川は地理的に分散している。余目は集中しているので渋滞もあるのでは？立地的には立川のほうが良いのではないのか？渋滞時の引き取りはどのように考えているのか。	災害時の引き取りについて、各学校で避難訓練をしています。災害の内容によってその時にならないとわからない場合もありますが、余目に来るのが難しいようであれば、余目に留め置くなどの方法も考えられます。危機管理マニュアルは作っていますが、統合に向けて子供たちの安全のために整備していく必要があると考えています。第一小学校では引き取り訓練も行っていますが、駐車場が狭いため地区ごとに時間をずらすなどしています。学校整備のと

裏面に続く

	ここで駐車場や路線も災害時のことを考慮して検討していく必要があると思います。
昔は分校もあった。立川地域に学校を残すということは検討されなかったのか。酒田市は旧町村単位で学校は残っている。	小規模学級・複式学級それぞれに良さがあります。アンケートの中で単学級の場合クラス替えができず人間関係が固定化される。先生方からも少数の良さはありながらも単学級の難しさ・デメリットがあるという声もありました。学年の担任が相談し合いながら教育活動に従事したいという声もありました。 大規模の学校になることから不安もあるという声もありますが、交流学习など進めていき不安の軽減に努めたいと考えています。
立谷沢小学校があった時代、地域の交流があった。地域の人たちと先生方の繋がり、自分が親世代の時は先生と繋がりがあった。先生も地域の見守りをしてくれた。今は働き方改革で夜の交流事業には出席できない。まちセンは町内に7つ、立川地域に3つあるが、地域づくりに校長先生が回り切れない。地域との繋がりが薄れることの残念さがある。	当時は各地域に入って懇親会などがありました。働き改革があるのも現実。地域との関わり、統合した後の関わり方が大切だと思っています。 地域と関わり地域に開かれた学校、関わりを持てるような学校にしていきたいと考えています。
子供を第一に考えて決めたのだと思う。遊佐町も5校が1校になり、色々なメリットやデメリットがある。統合した当初は学校も混乱したと思う。統合まで期間はあるので考えられる問題をクリアして子供たちが新しい環境で楽しく学校生活をおくれるようにしてほしい。	先日遊佐町に統合に関しての視察に行ってきた。子供の交流やスクールバスの乗車など、様々な情報を参考に統合を迎えられればと考えています。

☆皆様のご質問・ご意見(狩川地区一部抜粋)

人口で競争したら余目地域に負ける。自然環境は余目地域には少ない。立川地域に学校を残すのはベターと個人的に考える。人口比ではなく逆転の発想ではダメなのか。	小中学校が近くにあることで、これまでもこどもの成長に繋がったと感ずることがありました。今後の統合についても、小学校と中学校が近いという利点を生かしたいと考えています。現在小学校は5つありそれぞれ特色があります。それぞれの良さを地域の方のご協力を得て教育活動に生かしていきたいと考えています。自然環境についても、余目地域の子供たちが清川八郎記念館や北楯大堰などを含め立川地域の色々なことを取り入れ学べるよう、教育課程の編成をしていきたいと考えています。
---	--

地域説明会を行ったのは教育委員会定例会で決まった後であり、もっと丁寧に進めてほしかった。焦って行うのはなぜなのか、理由を知りたい。段階を踏んで時間に余裕を持って決めてほしかった。	急いだ理由として、小学校建設予定地は優良な農地であり宅地にするには様々な法的手続きが必要となります。令和８年度まで県営かんがい排水事業が実施されており、整備が完了し完了広告されると８年間は農地を転用できなくなります。また、その受益地を計画から除外する手続きは１年半ほどの期間を有します。響ホール北側が有力地とされたとき、５月までに手続きをする必要がありました。３月の議会定例会が終わってから地権者・耕作者への説明を行い、４月には関係者から合意を得て県と最上川土地改良区に受益地除外の申請を行っております。以上のように、時間的な余裕がなかったこと、また決定してからでなければ動けなかったこと、そのために丁寧さが欠けてしまった。不信感を与えてしまったと感じています。
今後の跡地利用について関心がある。立川中学校は最近できたばかり。今後の活用について、風来風流で使えるようになるのか。町として利活用の方法が考えられているのか。有料老人ホームでの活用などはどうか。	学校の統合を優先してきたので跡地利用は今後の検討と考えていました。小中学校を今後どのように活用していくかは、教育課だけでなく庁内全体で考えていく必要があると考えています。立川地域の活性化を図るために、どのような活用方法が良いか今後検討していきたいと思います。
響ホール北側の地権者は何名だったのか。異論なく賛成だったのか。	地権者が８名、耕作者が４名となります。まず現時点では用地交渉までは行っておらず、整備計画に同意を頂いたということです。説明会では計画に反対という意見はありませんでした。

☆皆様のご意見(意見交換会後アンケート自由記載抜粋)

- ・小学校は響ホール北側。中学校が余目中の改修という考えが周りからどんな意見を言われても覆らず、統合の事だけ決まっていて、その後の方針や廃校後の再利用が全然決まっておらず、無計画すぎる。
- ・質問に回答頂いて疑問点が理解出来ました。ありがとうございます。
- ・庄内町学校再編整備室だより等で随時状況をお知らせください。
- ・こういった地域意見交換会をある程度計画が固まり決定される前にすべきと思った。
- ・意見を交換しただけでなく、出された意見を尊重してもらいたい。
- ・こういった会も住民の意見を聞きたいのであれば、町で勝手にスケジュール組まれても都合で出れない方も大勢居ると思う。事実集まった人達が少なすぎる。スケジュールを決める前に町民にアンケート取り、いつ頃が１番集まりやすいかをアンケート取るなりして、自分達の都合で決めるのではなく住民の都合に合わせた方が良くと思う。

裏面に続く

《 中学校統合後の制服について 》

令和11年新中学校開校時の制服は、全学年新しい制服で統一します。

・8月開催の校長会で協議し、令和11年の開校時にすべての在校生(R9年度に入学する現在の小学5年生から)が新しい制服を着用して開校を迎えることに決定しました。現在、小中学校生を対象に制服のアンケートを実施しています。今後の予定スケジュールは下記のとおりです。

制服・運動着アンケート R7.8.28～R7.9.7



* 目的:新しい制服・運動着に対する希望調査(タイプ、色など)
お子さんと相談して回答いただくように依頼しています。

業者への案内通知 R7.10月上旬



* 目的:業者を選定するためのプレゼンテーション・展示会の開催通知

制服プレゼンテーション・運動着展示会の開催 R7.11月下旬



* 目的:制服・運動着のプレゼンテーション・展示会の開催
対象:児童生徒、保護者、学校関係者など

業者選定会議の開催・業者決定 R8.1月



* 目的:プレゼンテーション・展示会により評価し業者を選定
選定後、制服の色・柄・デザイン等の詳細を協議

制服・運動着サンプル提案 R8.3月末



* 目的:制服・運動着の最終選考に向けて、複数のサンプル案の提出

制服・運動着の決定 R8.4月～7月

* (仮称)統合準備委員会を立ち上げ、制服・運動着を選考・決定



詰襟、セーラー服タイプ



スーツ、ブレザータイプ

* スーツタイプ :上下同じ色で、同じ素材
ブレザータイプ:上下別の色で、柄も別